

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度 実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など(新型コ ロナウイルス感染症の影響によ るものを含む)	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
I-1	妊娠・出産・ 子育ての切れ 目ない支援	001	妊婦・出産ナビゲーション 事業	面接率	96.80% (現状:令和2年度末) 100% (目標:令和7年度末)	93% (現状:令和5年度末)	「伴走型相談支援(令和5年7 月)」と「経済的支援(令和5年3 月)」を一体的に実施していく、 「出産・子育て応援事業」を開 始し、妊娠期から出産・子育て までの様々なニーズに即した 支援につなげた。	健康推進課	順調 令和3年度末89.2%、令和4年 度末98.9%、令和5年度末93.0% と高い面接率を維持している。 引き続き、要支援者の更なる把 握に務め、切れ目ない子育て 支援をめざしていく。
		002	産後ケア事業(訪問型・宿 泊型)	利用者数	訪問型)676人 宿泊型)58人 (現状:令和2年度末) 利用者数増を目標とする (目標:令和7年度末)	訪問型)延 566人 宿泊型)実 127人 (現状:令和5年度末)	宿泊型産後ケア事業の申請方 法を見直したことにより、前年 度と比較して登録件数が2倍 以上に増加し、実利用人数も 大幅に増加した。	健康推進課	順調 宿泊型産後ケア事業は、令和 3年度58人、令和4年度77人、 令和5年度127人と順調に利用 者が増加している。 今後も、妊娠期から子育て期 にわたる切れ目のない支援を 強化していくことが求められて いるため、産後ケア事業のサー ビス形態や仕組みについて検 討していく。
		009	【新規】 オンラインによる妊婦面接 の導入	利用率	4.20% (現状:令和4年度末) 5.00% (目標:令和7年度末)	4.61% (現状:令和5年度末) 171/3,710件=オンライン 面接利用率	新型コロナウイルス感染症の5 類移行後においても対面での 相談に不安を感じる妊婦、自 宅安静や入院が必要で外出が 困難な妊婦がいるため、オンラ インによる妊婦面接を実施し た。 また、予約システムの見直しを 行い、前年度と比較して利用 率が増加した。	健康推進課	順調 オンラインによる妊婦面接は、 体調面への不安軽減だけでなく、 利便性向上にもつながって おり、順調に利用率を伸ばして いる。 今後、目標達成に向けて周知 等を図っていく。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
I-1	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	016	【新規】 多胎児家庭支援事業 (移動経費補助)	申請件数	198件 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	96件 (現状:令和5年度末)	年度当初に未申請の対象者宛に勧奨通知を送付した。令和5年度まで書面での申請のみであったが、令和6年度よりLoGoフォームでの申請を開始するための手続きを行った。	健康推進課	順調 令和2年11月に事業を開始し、令和2年度は令和2年4月1日時点の年齢に遡及し申請が可能であったため、申請件数が多かった。令和5年度実績は遡及がないため、令和2年度に比べて少ないものの、多胎児家庭への周知は変わらず徹底しており、利用者からの満足度は高く、支援ニーズには概ね応えられている。
		026	子育て支援情報の発信	アクティブユーザー数(1日に1回アプリを開いた数)	利用者数増を目標とする (目標:令和7年度末)	100,144件	子どもの成長記録や予防接種スケジュール管理といった基本機能に加え、絵本の紹介や動画機能を追加したことで、アクティブユーザー数が1年間で約1.8倍に増加した。	子育て支援課	達成 板橋区の重点政策である「絵本のまち」事業に関連した機能の追加により、アクティブユーザー数を大幅に増やすことができた。今後もユーザーのニーズに合わせた機能の充実を図っていきたい。
		031	子どもなんでも相談	相談対応件数	69,058件 (現状:令和2年度末) 78,000件 (目標:令和7年度末)	21,868件 (相談員が訪問及び面談、電話等により対応した回数)	子ども家庭総合支援センターの開設に伴い、組織改正を受け、人員が少なくなったこともあり、相談対応件数は減少したが、それぞれの内容は重篤化もしくは長期化する傾向にあり、援助課(児童相談所部門や健康福祉センター)との緊密な連携を行った。	支援課	順調 個々の相談に対しては、子どもや保護者に寄添い丁寧に対応している。
I-2	誰もが希望する幼児教育・保育の支援	032	保育施設の整備	保育施設定員数	13,792人 (現状:令和2年度末) 14,278人 (目標:令和7年度末)	13,483人	指標である保育施設の定員数については、計画策定時の目標(14,278人)を下回ったものの、昨年度に引き続き、令和6年4月1日時点の待機児童数が0名となったことから、事業の目的を達成した。	子ども政策課	計画変更 令和4年4月に待機児ゼロを達成し、継続していることから、定員数の増加は慎重に判断する事業計画へ見直した。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度 実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など(新型コロナ ウイルス感染症の影響による ものを含む)	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
I-2	誰もが希望 する幼児教 育・保育の 支援	051	【新規】 区立幼稚園での3歳児保 育及び預かり保育の実施	預かり保育 延利用者数	延2,000人 (目標:令和7年度末)	延734人	保育利用の手引きや区HPでの 周知に加え、周知用チラシを 作成し、入園説明会や保護者 会などで新入園児・在園児の 保護者に説明を行った。	学務課	計画変更 令和5年度の預かり保育延利 用者数は令和4年度に比べ増 加している。また、令和6年度 の在園児数は増加しており、預 かり保育の延利用者数も増加 する見込みであるが、目標値と 乖離している状況である。事業 の実績は順調に伸びているこ とに鑑み、目標値の見直しをす る。
		053	保育士研修の充実	参加人数	2,910人 (現状:令和2年度末) 参加人数増を目標とする (目標:令和7年度末)	研修数 116回 参加人数 4,998人	研修内容に保育実践報告を取り 入れ、各園の保育の工夫や 講師から助言を受けることで保 育の質の向上につながってい る。 また、Zoom研修も取り入れ、受 講者が参加しやすい環境を整 えた。	保育運営課	順調 講義、グループ討議、保育実 践報告等、研修の方法を工夫 することで、研修内容の理解を 深められた。Zoom研修の課題 を検証しながら、環境を整えて いく。
		054	幼稚園・保育園・小学校 交流合同研修	参加園数	1回目は中止 2回目は動画配信 (現状:令和2年度末) 参加園数増を目標とする (目標:令和7年度末)	1回目 63園 2回目 65園 (幼稚園、小学校の参加 数については教育支援 センターが把握)	対面での研修を実施した。予 め、情報共有をしたい小学校 を調整することで、小学校との 連携が図れた。	保育運営課	順調 保幼小間で、子どもの状況や 課題を共有することで、スム ーズな就学への移行に繋げること ができています。また、小中学校 教諭の課題別研修(保育園実 務研修)の保育園での受入れ を拡大していく。
II-1	子どもの命 と健康を守 ります	067	食育の推進	事業参加者数	740人 (現状:令和2年度末) 4,000人 (目標:令和7年度末)	3,035人	農業まつりや他課との連携イベ ント、また令和5年度より野菜撰 取量充実度推定機器を導入 し、食育推進の普及啓発を 行った。	健康推進課	順調 計画策定時から一部事業内容 の改善・充実を図り、着実に実 績が伸びている。今後も地域 でのイベント等において、栄養 や食生活についての情報提供 を行う。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
II-1	子どもの命と健康を守ります	075	出張歯みがき指導	実施か所数	9か所 (現状:令和2年度末) 73か所 (目標:令和7年度末)	104か所	感染予防対策を徹底し、むし歯予防について歯科健康教育、保健指導を行った。また作成した動画や資料を活用し、講座後のフォローアップや板橋区内全保育園への健康教育の一部として活用した。	板橋健康福祉センター	達成 児童館や保育園からの依頼に応じて、抽選により1年あたり73か所を目標として実施している事業であり、令和5年度は目標を上回る104か所に訪問し、指導することができた。 出張指導に加えて子ども本人と保護者双方にフィードバック出来るように資料配付と動画配信も実施している。 子ども本人が自分の口の健康を守る力をはぐくむことを念頭に、今後も対面方式と並行して動画やSNSを通じた情報提供・フォローが出来る体制を構築していく。
		079	予防接種	麻しん風しん混合第1期接種率	99.6% (現状:令和2年度末) 95.5% (目標:令和7年度末)	97.3%	未接種者へのはがきによる勧奨を行うなど、接種漏れのないよう周知を行った。	予防対策課	順調 目標を上回る結果となっているが、さらなる接種率の向上を図るため、継続して周知を図っていく。
II-2	子どもが安心・安全に暮らせる取り組み	090	げんきっ子トラフィックスクール	実施園数	66園 (現状:令和2年度末) 実施園数増を目標とする (目標:令和7年度末)	92園 2,021人	げんきっ子トラフィックスクールの実践研修の効果があり、保育施設の実施園数が増加した。	保育運営課	順調 本事業のさらなる周知と支援の充実を図り、実施園数の拡大を図っていく。
		093	【新規】自転車通行空間の整備	優先整備路線整備延長	16.6km (目標:令和7年度末)	2.0km	令和5年度は、関係機関と遅滞なく協議し、計画とおりの整備を完了することができた。	土木計画・交通安全課	順調 優先整備路線を令和5年度2km整備、令和6年度7.5km整備予定、令和7年度7.1km整備予定である。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
II-2	子どもが安心・安全に暮らせる取り組み	096	公園のユニバーサルデザイン化	改修した公園数	4か所 (現状:令和2年度末) 7か所 (目標:令和7年度末)	整備0か所 (基本・実施設計委託1か所)	残り3か所のうち2か所は、それぞれ令和6、7年度の整備予定であり、令和5年度は設計にあたっての準備を行った。また、うち1か所は計画延伸により令和8年度以降の整備を予定している。今後とも実施計画に基づき、防災機能の充実や、ユニバーサルデザインを推進し、安全で誰でも利用しやすい公園の整備を進める。	みどり公園課	計画変更 残り3か所のうち板橋公園について、デザインコンセプトとなる基本計画策定期間を延伸することとしたため、令和8年度以降の完了見込みとなった。その他2か所については、計画通り進めていく。
		100	板橋セーフティ・ネットワーク	協力事業者数	129事業者 (現状:令和2年度末) 155事業者 (目標:令和7年度末)	149事業者	ホームページやSNS並びに街頭キャンペーンや防犯講習会等を活用し、制度の周知に努めている。	防災危機管理課	順調 引き続き、制度の周知に努めていく。
		105	「板橋区版スマートフォン等を使うためのルール」の周知・啓発	リーフレット活用率	63.4% (現状:令和2年度末) 90% (目標:令和7年度末)	83.2%	リーフレットの発行・アンケートの実施等を、板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム「スマまち」を通じて案内するなど、ICT機器を活用することで、保護者にダイレクトに情報を発信することが可能となり、効果的・効率的な情報提供を実現した。	地域教育力推進課	順調 親子で一緒に考え取り組むきっかけを提供することで、「保護者の意識向上」や「親子のコミュニケーション向上」が図られ、一定の成果が上がっている。引き続き、誰一人取り残さないというSDGsの理念やD&I(多様性の受容)を踏まえ、保護者のニーズを把握・反映させた事業展開をすることで、子どもたちの自立心を培いつつ、子どもたちや家庭の孤立化を防止し、家庭における教育力を高めていく必要がある。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性		
				定量的実績							
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】						
II-2	子どもが安心・安全に暮らせる取り組み	106	PTAと協働した安全対策事業	実施事業数	2事業 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	2事業	「子どもを守ろう! 合同パトロール」の実施にあたり、板橋区立小・中学校PTA連合会以外にも、町会・自治会やいたばし子ども見守り隊などの関係機関・団体に対して、パトロール・見守り活動の強化を要請することで、子どもたちの健やかな成長を地域で見守る関係機関相互の連携を強化することができた。	地域教育力推進課	順調 板橋区立小学校PTA連合会と協働した、「こども110番クリアフォルダー」の作成・配付や、板橋区立小・中学校PTA連合会と協力した「子どもを守ろう! 合同パトロール」の実施を通じ、子どもたちの安心・安全な環境づくりに寄与している。引き続き、関係機関との連携をより一層強化しつつ、持続可能性を見据えた効果的・効率的な事業実施手法を模索する必要がある。		
		III-1	特に配慮が必要な子どもの健やかな成長を支援	112	障がい児通所支援	児童発達支援センター数	2か所 (現状:令和2年度末) 2か所以上 (目標:令和7年度末)	3か所	通所計画、指導計画を定めて日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練を実施し、心身障がい児の自立更生を支援した。	障がい政策課	達成 区内において児童発達支援センターを3か所設置しており、今後はセンター間においても連携を強化しながら、より充実した障がい児の通所支援体制の確保に努める。
				113	【新規】医療的ケア児の受入	実施園数	2園 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	2園	医療的ケア児に対する保育ニーズの高まりに対応するため、区立保育園2園(高島平あやめ保育園・上板橋保育園)にて、医療的ケア児の受入を実施している。	保育運営課	順調 医療的ケア児のモデル園としての役割を引き続き果たしていくとともに、令和6年度より受入園を5園に拡大して実施していく。また、地域需要の把握、私立保育園での受入体制の拡大等を検討していく。
122	あいキッズにおける要支援児受入	受入可能施設数	51か所 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	受入実績40か所 (受入可能51か所)	施設や利用者のニーズを把握し、支援が必要な児童に対する支援員の加配や、心理専門員の施設巡回などにより、児童の育成を支援した。	地域教育力推進課	順調 引き続き、きめ細かな支援を実施するとともに、現場の支援状況を見極めながら、受け入れ対象範囲の拡大などを検討していく。				

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度 実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など(新型コ ロナウイルス感染症の影響によ るものを含む)	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
Ⅲ-1	特に配慮が 必要な子ど もの健やか な成長を支 援	131	要支援児保育巡回指導	実施園数	129園 (現状:令和2年度末) 実施園数増を目標とする (目標:令和7年度末)	136園	新たに要支援児が在籍する保 育園に対して、心理士の手配 を迅速に行った。	保育サービ ス課	順調 要支援児に対する質の向上、 適した保育の提供に向け、適 切な指導・助言を行った。今後 も継続していく。
		134	特別支援学級の設置	開設数 ※特別支援教室 拠点校含む	36校 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	36校	障がいのある児童・生徒一人 ひとりの教育的ニーズに的確 に応えられるよう、特別支援学 級の教員が指導の工夫改善を めざした研修を年3回実施して いる他、特別支援教室の教員 の指導力向上に向けた研修を 年3回実施している。さらに、特 別支援学級では、指導方法の 状況共有のため、担任会を定 期的に実施している。	指導室	順調 特別支援教育では、通常の学 級、通級による指導、特別支援 学級、特別支援学校といった 多様な学びの場を用意し、児 童・生徒の状況に応じた学び が展開されている。児童・生徒 一人ひとりの教育的ニーズに 的確に応えられるよう、取組を 継続していく。
Ⅲ-2	貧困や虐待 から子ども を守ります	137	母子・父子自立支援プロ グラム策定事業	策定件数	7件 (現状:令和2年度末) 15件 (目標:令和7年度末)	15件	前年度(令和4年度)からの継続 者に対しての支援が多く、アフ ターケアについても力を入れた。	生活支援課	順調 今後給付金等との併用がある ため、件数の増加が見込まれる。 一人ひとりへの支援がおろ そかにならないように支援員と の会議等で情報共有を行って いく。
		146	子どもの学習・生活支援 事業「まなぶーす」	利用登録者数	134人 (現状:令和2年度末) 150人 (目標:令和7年度末)	148人	関係機関に対し、説明会やチ ラン配布を通じて周知活動を行 った。また、受験に関しては 応募に関する講座等を行い、 受験を行う親子を支援すること で、進路実現を支援した。	生活支援課	順調 事業を通して進学を含め子ど もたちの学習を支援することが できた。また、保護者に対する アプローチも行うことができた。 今後も同様に実績を積み上げ ていく。また、さらなる周知活動 を通してこれまで活用していな かった子どもたちにも事業を広 めていく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度 実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など(新型コロナ ウイルス感染症の影響によるもの を含む)	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
Ⅲ-2	貧困や虐待 から子ども を守ります	149	【新規】 養育費確保支援事業	申請件数	30件 (目標:令和7年度末)	27件	区の戸籍窓口や板橋区公証 役場に当事業のチラシを置くこ とによる周知のほか、令和5年 度7月より開設したいばしひ とり親家庭相談窓口主催のセミ ナーで、離婚前の方へ養育費 確保支援事業の周知を行っ た。また、同相談窓口に相談へ 来た離婚前後の保護者に対し て、養育費確保支援事業の制 度説明等、周知を行った。結果 的に件数は前年度とほぼ横ば いで推移した。	生活支援課	順調 前年度とほぼ横ばいでの推移 だったが、令和5年度7月より 開設したひとり親家庭相談窓 口での周知を含めると、周知方 法に改善の余地があると考え る。また、令和6年度より支援事 業を拡大したため、拡大部分 の利用促進及び利用が少ない 部分について、必要な区民へ の積極的な周知を図っていく。
		162	子ども家庭支援事業	相談対応件数	474件 (現状:令和2年度末) 相談対応件数増を目標と する (目標:令和7年度末)	1,728件(新規受理件数 のうち虐待を除く)	保護者の病気や経済状況な ど、家庭環境に何らかの課題 がある子育て家庭の相談が増 加傾向にある。所内での情報 共有及び支援策の検討を実施 し、組織として対応した。	支援課	順調 平日の開所時間以外もコール センターで受電対応するなど 相談体制を確保し、迅速な対 応と早期解決を図っている。引 き続き、各相談に丁寧に対応し ていく。
		163	【新規】 子ども家庭援助事業	児童虐待受理件 数	1,300件 (目標:令和7年度末)	1,149件	警察や学校、病院等の関係機 関と意見交換会を定期的に実 施する等、日頃から連携を深 める取り組みを行うことで、児 童虐待に関する相談を受け易 い体制づくりを行っている。	援助課	順調 虐待に対する社会的関心が高 まる状況下において、関係機 関や近隣住民からの通報は今 後も増加していくことが見込 まれる。迅速に初動対応が行 えるよう、引き続き、関係機 関等と綿密に情報交換を行っ ていく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度 実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など(新型コ ロナウイルス感染症の影響によ るものを含む)	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
III-2	貧困や虐待 から子ども を守ります	165	【新規】 里親事業	養育家庭登録数	22件 (現状:令和2年度末) 44件 (目標:令和7年度末)	28件	毎月1回地域を変えての里親 説明会や体験発表会を実施し たほか、区内小中学校児童等 へのチラシ配布や区内掲示板 へのポスター掲示等を行った。 また、こどもわくわくフェスタや 板橋区民まつりにブース出展 し、里親の普及啓発を行うなど 様々な方法でリクルート活動 を行った。	援助課	順調 リクルート活動の成果により令 和4年度と比較し、7件純増と なった。 目標達成に向けた新たな取組 として、里親登録者が少ない地 域を中心に、チラシのポステ ィングや街中でのチラシ配り を行っている。
IV-1	これからの 社会を生き 抜く力を養 成	167	読み解く力の促進	実施状況	対象の全児童・生徒実施 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	74校(全区立小中学校)	全ての児童生徒に「読み解く 力」を育成することをめざし、全 区立学校において、教育課程 に位置付けるよう指導した。さら に、教員の日々の授業におい て、「読み解く力」を育成するこ とができるように、希望のある学 校に対して、指導主事を派遣 し、「読み解く力」についての説 明を行うとともに、「板橋のiカリ キュラム」活用実践校の取組を 基にした授業革新を行うための 助言等を行ってきた。	指導室	順調 「読み解く力」を育成するため には、教員が日々の授業の中 で意識的に指導していくことが 重要であり、義務教育9年間の 中で積み重ねていくことが大切 である。そのため、7校ある「板 橋のiカリキュラム」活用実践校 の授業実践を公開し、全区立 学校の教員の「読み解く力」の 育成に向けた授業革新を推進 していく。
		171	【新規】 ロボットプログラミング教室 の実施	実施回数	34回 (現状:令和2年度末) 52回 (目標:令和7年度末)	155回	参加希望者数の増加に伴い、 参加者の習熟度を分析しなが ら、連続性を意識した事業内 容になるよう中身を工夫した。	生涯学習課	順調 目標値を大幅に達成して成果 をあげているため、引き続き、 参加者の習熟度を分析しなが ら事業の中身を工夫し、継続し ていく。
		175	子ども向け美術普及	ひよこ・たぬきアト リエ参加者数	0人※事業中止 (現状:令和2年度末) 144人 (目標:令和7年度末)	121組339人 (親164人、子175人)	多くの方が参加しやすいよう、 家族単位での参加を可とした。 引き続き、ゆとりを持った定員 設定とした結果、講師の目が行 き届き、会話を交えた双方向の 講座とすることができた。	文化・国際 交流課	順調 令和4年度からブランド戦略の 1事業と位置付けるため、「こど もアトリエ」に事業名を変更し た。 作業スペースを確保し、講師の 目が行き届くよう、定員は12組 で継続予定である。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
IV-1	これからの社会を生き抜く力を養成	209	【新規】 図書館を使った調べる学習コンクール	参加校数	51校 (現状:令和2年度末) 66校 (目標:令和7年度末)	区立小学校 47校 区立中学校 4校 私立小学校 2校	ホームページ・TwitterなどのSNSで調べる学習相談会などを情報発信した。また、学校に対して出張授業を行い、児童に調べる学習の説明を行った。また、図書館内で相談会を実施し、調べる学習の支援を行った。	中央図書館	計画変更 コンクール参加校数や個別相談会の参加人数は微増傾向である。出張授業についてはコロナ禍と、また学校側の負担軽減も模索するなかで減少してきた。そのようななかで出張授業に代わるものとして、また事業に対する関心を持ってもらえるような周知として、令和6年度は、参加意欲を引き出すような説明動画を作成し、発信することとした。
		IV-2	自信をもって大人へと成長する子どもと家庭を支援	211	いたばし若者サポートステーション	新規利用者数	71人 (現状:令和2年度末) 140人 (目標:令和7年度末)	69人	新規登録者の情報入手元はHPが全体の29%を占めていることから、前年度に引き続きHPのコンテンツ充実と利便性向上、HP誘導のためのツールとしてSNS上での情報発信に取り組んだところ、HP閲覧数は79,919件(前年度63,000件)まで伸ばすことができた。広報いたばし掲載回数は5階(前年度4回)、区の公式LINEによる広報活動も活用している。
213	中学・高校生の子育て体験事業	ボランティア受入延べ人数	0人※事業中止 (現状:令和2年度末) 延500人 (目標:令和7年度末)	中学生:延143人 高校生:0人	令和5年5月、新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行したものの、当該感染症の影響により、本事業におけるボランティア受入延べ人数は減少している。 なお、事業実施にあたり、体調把握、換気、手指消毒等感染症対策を徹底し、事業を実施している。	保育運営課	計画変更 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したが、当該感染症の影響により実績が減少している。こうした状況を考慮し、令和7年度末目標値を延500人→延150人に変更し、実施方法等の見直しを図りながら、事業を展開していく。		

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度 実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など(新型コロナ ウイルス感染症の影響による ものを含む)	担当課	実績に対する評価 及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
IV-2	自信をもつて大人へと成長する子どもと家庭を支援	220	【新規】 不登校改善重点校事業の実施	重点校数	5校 (現状:令和2年度末) 現状維持 (目標:令和7年度末)	12校	不登校対策に見識のある大学教授を年間講師に招き、実効性の高い取組になるように指導・助言をいただいた。また、年度末には、中学校向け「居場所づくりリーフレット」を作成し、教室以外の全区立学校へ周知した。不登校児童・生徒やその傾向のある児童・生徒に対し、教室とは別の居場所を確保することで、不登校の未然防止や不登校児童生徒の学校復帰につながった事例も増えてきた。	指導室	順調 学識経験者から指導・助言を受けながら、「教室以外の居場所づくり」をさらに推進、充実させるために、小学校を対象とした「居場所づくりリーフレット」を策定し、学校の実態に応じた取組を行えるようにしていく。
		223	板橋フレンドセンター(適応指導教室)	登録児童・生徒数	148人 (現状:令和2年度末) 180人 (目標:令和7年度末)	246人	板橋区内の小中学校において、不登校者数が増加した結果、通級者数が増加したことが外的要因として考えられる。また前年度に引き続き、通級者の満足度を高めるべく、様々な体験教室や行事の実施、ランチの会などで児童生徒間の交流を図るイベントの充実に努めた。更には保護者交流会を実施し、保護者間の繋がりにも働きかけた。	教育支援センター	順調 昨年度を上回る通級数となったことから、本年度も同等もしくは増加することが見込まれる。引き続き、児童生徒が利用しやすい環境づくりに努め、通級者の満足度を高めると同時に、今後の進路選択の助けとなるよう工夫していきたい。
		224	スクールソーシャルワーカーの活用	訪問延べ回数	1,213回 (現状:令和2年度末) 1,600回 (目標:令和7年度末)	4,237回	令和5年度より中学校にSSWを配置する拠点型に変わり、校内に在籍しながら支援を行えるようになった。また、校内支援委員会にも参加し、そこで直接依頼を受けるようになっており、潜在的なニーズに対応している。	教育支援センター	順調 中学校ではSSW支援に関する理解が進み、必要な支援が行えるようになってきている。その一方で、小学校での認知度は地域差があり、小学校での定期的な巡回が必要である。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
V-1	子どもが誇りを持てるいたばし	231	コミュニティ・スクール委員会の運営	学校経営にiCSを取り入れている度合い	46.2% (現状:令和2年度末) 70% (目標:令和7年度末)	54.80%	板橋区コミュニティ・スクール(iCS)の理念を浸透させるため、アドバイザー派遣、iCSフォーラムやCS委員向け研修等を行うなど、関係者の意識向上につながる取組を行った。また、広報誌(iCSレター)を年5回発行し、好事例の情報発信に努めた。	地域教育力推進課	順調 コミュニティ・スクール委員会設置から4年が経過し、iCSの理念を浸透させる取組を継続して行ったことで、学校経営にiCSを取り入れている度合いが少しずつ増えてきている。令和6年度から新たにキックオフミーティングを開催し、iCSの目的の確認や前年度の振り返り、目標設定を行うことで、学校支援地域本部と両輪・協働の体制づくりをさらに強化する。
		232	学校支援地域本部事業の推進	学校支援ボランティア数	68,823人 (現状:令和2年度末) 102,200人 (目標:令和7年度末)	69,323人	各学校の学校支援地域本部事業を推進するため、地域コーディネーター情報交換会等を開催し、ボランティアの募集や人材育成について好事例を共有するとともに、統括コーディネーター等によるアドバイスをを行った。また、統括コーディネーターが新任校長の学校を訪問し、学校支援地域本部の活用方法について相談に乗るなど、学校側への支援も充実させた。	地域教育力推進課	順調 令和5年度にコロナが5類に移行したことを受けて、ボランティア活動の幅が広がったため、ボランティア数は令和4年度実績を上回った。令和6年度から統括コーディネーターを3名に増やすなど、地域コーディネーターに対するサポートの強化に努める。引き続き、取組の成功事例共有等を通して、全校の底上げを図り、コミュニティ・スクール委員会と両輪・協働の体制を構築できるように各学校を支援し、板橋区コミュニティ・スクール(iCS)を推進する。

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
V-1	子どもが誇りを持てるいたばし	234	子育て支援員の活動支援	子育て支援員養成講座修了者数	0人※事業中止 (現状:令和2年度末) 毎年70人 (目標:令和7年度末)	18人	受講希望者数が予定より少なかったため、規模を縮小して実施した。事業実施にあたり、オンライン配信を活用する等、事業を工夫し実施している。	保育運営課	<p>計画変更</p> <p>子育て家庭を取り巻く環境の変化等により、子育て支援員養成講座の受講者数は年々減少しており、区民ニーズが低下している。また、東京都において、年間を通じて当該講座を実施しているため、区民への影響が少ないことを鑑み本事業を廃止する。今後、子育てを支援する基盤整備を行うためには、子育て支援員だけではなく、総合的な取り組みが必要であり、他部署と連携をし、子ども・子育て分野を取り巻く環境変化に対応する方策を検討していく。</p>
		238	職場体験学習(中学生向けインターンシップ)	実施校数	3校※コロナの影響による (現状:令和2年度末) 22校 (目標:令和7年度末)	20校	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、感染症拡大以前の実施状況に戻ってきている。学校によっては、学校支援地域本部の方々に御協力いただき職場先を決め、職員の公務軽減した学校もあった。学校の行事等の見直しの観点から実施学年の変更等によって実施できなかった2校については、社会人を招へいした学習等の職場体験に代わる学習を行った。	指導室	<p>順調</p> <p>職場体験については、今後も、総合的な学習の時間や特別活動の目的や内容に沿い、区立中学校全校で実施していく。</p>
		240	【新規】若者の居場所づくり事業	i-youth利用者が企画運営に携わる事業・イベント数	9事業 (現状:令和2年度末) 事業・イベント数増を目標とする (目標:令和7年度末)	10事業 (ダンスフェスタ1回、ミュージックコンサート2回、シーズンコンサート3回、他4事業)	若者同士の仲間づくりや、多世代交流が円滑に行えるよう、若者と職員がコミュニケーションを図り、対象者の設定や事業の運営方法を工夫した。	生涯学習課	<p>順調</p> <p>中高生・若者が事業運営に参画し、協同の楽しさや仲間づくりの喜びを実感できるよう、今後も支援していく。</p>

基本目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和5年度実績	事業の遂行にあたって工夫したことやその成果など(新型コロナウイルス感染症の影響によるものを含む)	担当課	実績に対する評価及び今後の方向性
				定量的実績					
				指標	現状値(直近値) 【計画策定時】				
V-1	子どもが誇りを持てるいたばし	245	図書館サポーターの育成	講座数	3回 (現状:令和2年度末) 8回 (目標:令和7年度末)	8回	コロナ禍により令和3年度の開催を最後に休止していた、交流会を開催し、サポーター同士の交流・情報交換の機会を設けた。	中央図書館	順調 各講座とも概ね定員を超える応募があり、参加者の満足度が85%を超えた。引き続き図書館サポーター(ボランティア)の育成・技術向上のための講座を実施していく。
V-2	「子育てするなら”いたばし”で」を実現	251	いたばしグッドバランス推進企業表彰	応募企業数	4社 (現状:令和2年度末) 5社 (目標:令和7年度末)	応募企業数8社	産業振興公社、板橋法人会、板橋産業連合会、東京商工会議所板橋支部といった関係機関と連携し、周知を行った。新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、企業訪問による取組内容のヒアリングを一部オンラインで実施した。	男女社会参画課	順調 令和5年度は目標数を上回る8社の応募があり、順調に事業を実施することができている。今後も産業振興公社等と連携して制度周知をすすめ、区内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、すべての人が子育て等の家庭生活と仕事を両立しやすい環境づくりを進めていく。
		269	板橋子ども動物園	利用者数	341,754人 (現状:令和2年度末) 600,000人 (目標:令和7年度末)	567,130人	イベントの定員制を廃止したことにより、より多くの参加者が集まった。イベント参加者のアンケートや来園者の声を取り入れることで、来園者サービスを向上し、来園者の高い評価を得ている。	みどり公園課	順調 子ども動物園指定管理者の再選定につき、指定管理者と連携をとり、来園者サービスの向上を図る。イベントやプログラムを増やすことにより、利用者数の維持・増加をめざす。
		271	i-youth(あい・ゆーす)	利用者数	14,346人 (現状:令和2年度末) 40,000人 (目標:令和7年度末)	23,332人 (大原:13,963人、成増:9,369人)	施設への要望を聴きとったり、事業の看板作製や装飾等への参加を促す等、若者の居場所になるよう努めた。また、多様な活動が同時に行えるよう、適切な利用調整等を働きかけた。	生涯学習課	順調 関係部署と連携し、活動場所の拡充を検討するとともに、引き続き情報発信や環境整備を進める。